

# 慢性疲労の発現・進展・回復プロセスの 機序解明と予防に関する労働科学研究

## 1. プログラム概要

慢性疲労は、昨今のメンタルヘルス、慢性うつ病、過労死、過労自死等の健康問題の温床になっているばかりか、慢性疲労状態での業務遂行によって医療事故、鉄道事故、装置産業事故等を生じさせ、私たちの社会生活における安全性も揺るがしていると考えられます。したがって、そのメカニズムを解明することは、学術的にも、また社会的な意味でも、重要かつ緊急な課題であります。

労働科学研究所では、文部科学省の研究補助金を受けて平成16年度より4年間にわたって慢性疲労の発現・進展プロセスのメカニズムの検討を行ってきました。

このたび、4年間の成果がまとまりましたので、その成果を社会に還元したく、本シンポジウムを企画いたしました。是非、ご参集の上、ご発言いただければ幸いです。よろしくごお願い申し上げます。

### ◆シンポジストおよび演題◆

#### 1. 研究のあらましと経過報告 13:30-13:45

酒井 一博 (労働科学研究所・所長)

#### 2. 実験研究成果

八幡 憲明 (日本医科大学・薬理学教室・助教) 13:45-14:20

一連続的な軽度睡眠短縮が脳機能に及ぼす影響の検討

～機能的磁気共鳴撮像法 (functional MRI) を用いて～

南 正康 (労働科学研究所・主管研究員) 14:20-14:55

一連続的な軽度睡眠短縮より新たに発見された尿中メラトニン代謝物の動態

休憩 10分 14:55-15:05

#### 3. フィールド研究成果 15:05-15:40

松元 俊 (労働科学研究所・労働ストレス・社会生活研究グループ・研究員)

一16時間2交代勤務看護師の夜勤中の仮眠効果

#### 4. 事例研究成果 15:40-16:15

佐々木 司 (労働科学研究所・慢性疲労研究センター長)

一過労障害の発生直前の労働・生活行動と慢性疲労徴候

休憩 10分 16:15-16:25

#### 5. 総合討論 (まとめ) 16:25-16:55

## 2. 日時および会場

開催日時 : 2007年12月18日(火) 13:30~17:00

日本教育会館 7階・701号室 ☆裏面の会場案内図を参照☆

## 3. お申し込み方法 裏面のFAX申込用紙または電子メールでお申し込みください。

(財)労働科学研究所 セミナー係  
TEL : 044-977-4390 (ダイヤルイン) FAX : 044-976-8190  
電子メール : [islseminar@isl.or.jp](mailto:islseminar@isl.or.jp) URL : <http://www.isl.or.jp>

## 4. 参加費 無料

FAX送信 044-976-8190

2007年12月18日 労働科学研究所シンポジウム参加申込書

(組織名)

<参加者>

所属	氏名	E-mail

〒

住所

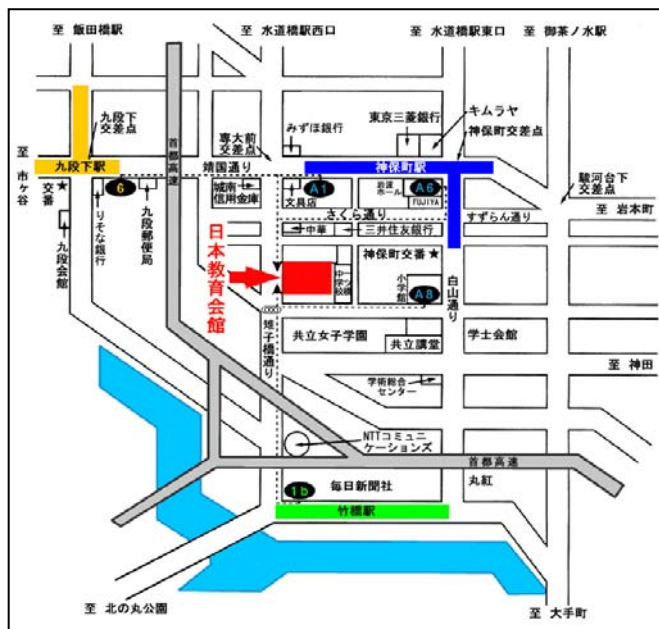
連絡先TEL

FAX

通信欄:

ご記入いただいた個人に関する情報につきましては、当研究所が責任をもって管理し、本例会の的確な実施(ご連絡、運営、お問い合わせ対応等)のために使用するほか、当研究所の主催する各種セミナー・研究会のご案内のために使用場合があります。この情報提供に同意いただけない場合には、通信欄にご記入ください。

### 【会場案内図】



### 《日本教育会館》 東京都千代田区一ツ橋2-6-2

- 地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線  
「神保町」駅下車(A1出口)徒歩3分
- 地下鉄都営三田線  
「神保町」駅下車(A8出口)徒歩5分
- 地下鉄都営東西線  
「竹橋」駅下車(北の丸公園側出口)徒歩5分
- 地下鉄都営東西線  
「九段下」駅下車(6番出口)徒歩7分
- J R 総武線  
「水道橋」駅下車(西口出口)徒歩15分